

犬山市地域公共交通計画(案)についてのご意見の内容と市の考え方

案件名	わん丸君バス再編案のうち運賃及び料金に関する事項
募集期間	令和7年11月4日(火)から12月5日(金)まで
公開場所	市役所本庁舎1階ロビー、防災交通課窓口、各出張所(城東・羽黒・楽田・池野)、市民健康館、福祉活動センター、シンエイライフ犬山ライブラリー(市立図書館)、市ホームページ
意見数	1件(1名)

(いただいた意見)

わん丸君バスの運賃等の見直しについて一つ提案があります。小牧市の「こまくる」は65歳以上の小牧市民はもちろん他市民も乗車賃は無料です。その他の大人は200円、小学生は100円となっています。犬山市の場合65歳以上の無料化は困難だと思いますが、小牧市にはない取り組みとして、市長がいつも言われる「来るまちから住むまち」「子供にやさしいまち」として小・中学生のわん丸バス運賃の無料化を提案します。

R4年度のデーターですが運賃収入は約850万円で、その中小・中学生の運賃収入はほぼゼロときいています。従って小・中学生を無料化しても市の財政負担が増えることはありません。以前からこの提案をしていますが、必ず受益者負担の原則の話がでます。現行の運行状況を見る限り空席が目立っており、空席を利用するだけですから、小・中学生に受益者負担を求めることはいかがなものかと思います。現在春・夏・冬休み期間中は無料ですが、年中無料化することで少しでも子供たちがわん丸バスに乗る機会がふえて、わん丸バスへの親しみや関心が深まることが期待できます。小・中学生の無料化で近隣市町との差別化ができるで犬山市のアピールポイントが増え、保護者の家計も助かります。またわん丸バスのドライバーも乗客が少しでも多いほうがモチベーションも上がると思います。小・中学生を無料化することにより、「犬山市」「家計」「ドライバー」にメリットがあると思われます。

(市の考え方)

令和6年度について、小学生の運賃収入(パス券除く)は46,000円でした。全体の運賃収入(パス券除く)8,325,100円に占める割合は約0.6%であり、ご意見のとおり財政負担の影響は少ないです。

しかし、現時点においては受益者負担の観点もありますが、「公共交通はみんなで支える乗り物であり、確保維持のために利用者がお金を払って乗るもの」という考え方の下、小中学生についても、一定の運賃をお願いしています。

また、将来の公共交通利用につなげるために、子供の頃から乗る機会を作ることも重要であり、地域公共交通計画において実施事業として位置付けを行っています。

したがいまして、わん丸君バスにおける現時点での小中学生への対応としては、運賃は一定額をお願いしつつ、無料乗車キャンペーン等で乗車機会を作ることで利用促進を図り、維持確保に努めていく考えです。